（様式１）

令和５年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 003	**提案機関名**	神奈川県　農業振興課

要望問題名　県育成花木の開花制御技術の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

本県では、サルスベリのディアシリーズやハナモモの照手シリーズ等の花木が育成されている。県育成花木を生産者や実需者、一般消費者にPRするために、花とみどりのフェスティバルや神奈川県植木品評会等のイベントにおいて、ポットや鉢の状態で展示する機会が多いが、花木の場合は、開花した状態で展示しないとPR効果は低いと思われる。今後も2027横浜国際園芸博覧会等のイベントでの展示が想定されるので、効果的にPRを行うため、展示時期に応じて開花させる技術の確立は必要である。

そこで、県で育成した花木のうちサルスベリのディアシリーズとハナモモの照手シリーズについて、ポットや鉢の状態で、以下の想定される展示時期に応じて開花させる技術の確立をお願いする。

○想定される展示時期

花とみどりのフェスティバル：11月末又は２月中旬

神奈川県植木品評会：３月上旬

2027横浜国際園芸博覧会：３～９月

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　［③４～５年以内］　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	［①農業技術センター］　②畜産技術センター　③水産技術センター　④自然環境保全センター

備　考

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	生産技術部

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　［④実施済］　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

ほうき性ハナモモ‘照手紅’‘照手桃’‘照手白’‘照手姫’の開花調節試験（H7神奈川農総研試験研究成績書（花き・観賞樹））

サルスベリ’ディアウィーピング’の剪定時期による開花調節（H19園芸学研究　第6巻　別冊１〔神奈川農業アカデミー〕）

対応の内容等

ハナモモの照手シリーズについては、低温処理と処理後の温度管理等により、開花調節を行う方法が明らかにされています。サルスベリのディアシリーズは、‘ディアウィーピング’で剪定時期を変えることにより開花時期をずらすことが可能です。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考